

日本の展望委員会 情報社会分科会（第4回）  
議事要旨

1. 開催日時 平成21年2月18日（木）10:00～12:30
2. 開催場所 日本学術会議5階 5-A(1)会議室
3. 出席者（敬称略）  
（委員）武市正人、池田眞朗、藤本隆宏、斎藤成也、新山陽子、青山友紀、  
田中英彦、荒川泰彦、大江和彦、山口いつ子  
（事務局）渡辺、戸田、中島、関、井上、大西
4. 配布資料  
資料1 前回議事要旨案  
資料2 第4回日本の展望委員会資料『『日本の展望』作成の作業について（メモ）』  
（2008年1月7日）等  
資料3 情報社会分科会「分科会から提言に盛り込む事項」（案・改訂版）  
資料4 情報社会分科会「分科会から提言に盛り込む事項の整理」（案）  
資料5 情報社会分科会「審議の経過および検討の論点の整理」（案）  
資料6 キーワード説明「情報の共有と合意形成」

5. 議事

（1）前回議事要旨の確認

資料1に基づいて前回議事要旨の確認が行われた。

（2）第4回日本の展望委員会に関する報告

武市委員長から、資料2に基づいて、本年1月7日に開催された第4回日本の展望委員会に関する報告が行われた。分科会における今後の作業として、本年3月16日までに、分科会の「審議の経過および検討の論点の整理」（A4で2-5頁程度）、および、分科会から「第4期計画に盛り込むべき、あるいは提言したいと考えられた事項とその簡単な説明を、事項ごとにA4半頁程度」にまとめて提出することが求められている。

（3）分科会報告書および3月16日提出文書のまとめ方について

分科会報告書および3月16日提出の上記二種類の文書を今後どのようにまとめていくかについて、武市委員長から、議論のたたき台となる原案が示された後に、委員間の意見交換と議論が行われた。

- 1) 前回分科会に提出されたキーワードに関する説明文書について、武市委員長から、さらに検討を要すると考えられる箇所を加筆した改訂版（資料3）が示された。加えて、新たに提出されたキーワード説明文書（資料6）について、担

当委員から説明がなされた。今後も、必要に応じて新たなキーワードの追加等を検討していくこととする。

- 2) 3月16日提出の上記文書のまとめ方に関して、武市委員長から示された資料4と5をたたき台として、委員間での議論が行われた。上記文書のとりまとめにあたっては、まず、これまでの関係文書の内容（例えば、資料5における2002年「日本の計画 Japan Perspective」や2005年「日本の科学技術政策の要諦」の抜粋部分を参照）について、その後の状況変化を踏まえて検証しておく必要がある。その上で、情報に関する事柄について網羅的に取り上げるのではなく、ある程度は焦点を絞って、何をすべきかといったメッセージを打ち出すことが望ましい。それに向けて、なかでも、情報の「使われ方」を意識した技術のあり方や、情報と「人」との関係を意識した視点を、今後のとりまとめの作業における柱ないし切り口として重視していくことが考えられる。

#### (4) 次回の分科会の開催

次回の分科会は、4月23日14時から日本学術会議において開催する。

(議事要旨作成者 山口)